

minamisomagazine
ミナミソウマガジン

magazine for minamisoma supporter
2019 winter

01

S



南相馬市サポーター会報誌

ミナミソウマガジン創刊

南相馬＝「馬のまち」なのはなぜ？

創刊しました

暑さ増す雲雀ヶ原祭場地、風が吹く鳥崎海岸、桜満開の夜ノ森公園、日差しの差し込む図書館、澄んだ空気が漂う小高神社――。

一人ひとり、心が動く情景が違うように、『ミナミソウマガジン』のテーマもさまざま。

いろんな南相馬が詰まつたページをめくつて、もし、なつかしいと感じるところがあつたなら、嬉しいです。

もし、これまで知らなかつた魅力が見つかつたなら、もっと嬉しいです。もし、それを誰かに伝えたいと思っていただけたら嬉しいです。もっともっと嬉しいです。

『ミナミソウマガジン』は、そんな想いを込めて、

南相馬に縁のあるみなさんに読んでいただくために制作しました。

これから、ふいに送られてくる手紙のように、「南相馬の今」の便りを受け取つていただけたら幸いです。

「南相馬」と聞いて思い浮かべる、ものの、場所、ことは何でしようか？スポットを当てたいものはたくさんあるのですが、一般的にはきっと「野馬追！」と全方位から返つてきそ�です。

南相馬では年に一度の野馬追が最高潮に盛り上がり、普段からたくさんの中馬が暮らす馬のまち。南相馬のご当地キャラクターも、「野馬追」に出場するのを夢見る、とても優しく、元気で明るい男の仔馬である「のまたん」です。でも、よくよく考えてみると馬のまちたる理由や、野馬追が生き続ける土地だからその特徴は？「南相馬のこれから」を考える上でもヒントになりそうな、馬のまちについて考えてみました。

南相馬・「馬のまち」なのはなぜ？

なのは

why
uma no
machi?



特集 南相馬・「馬のまち」なのはなぜ？

- 4 ほかにもいろいろ「馬のまち」
- 5 馬の種類や仕事／南相馬の馬の仕事といえば…「相馬野馬追」
- 6 南相馬の日常 馬と暮らす／南相馬で暮らす有名馬
- 7 コラム「南相馬の人々と馬」
- 8 インタビュー「馬のまちで考える 馬とともに生きること」
- 12 グラビア

連載

- 16 「馬先生直伝!! 正しい馬の飼い方」「Bar Wizard マスターの今宵の一杯」
- 「予測不能な未来を楽しむ！イノベーション研究室」
- 19 表紙の馬／編集後記

Uma no machi 「馬のまち」

ほかにもいろいろ

Uma no machi

野馬追で知られる南相馬ですが、「馬のまち」は、全国津々浦々にとてあるのです。多くの馬が暮らす自治体や、馬にまつわる祭りや伝統がある場所、特有の馬がいる地域や、「馬」がつく地名…さまざまな理由の「馬のまち」を集めました。

東北の名産地

馬と暮らす文化を残す、

家族の一員として
1、2頭飼いが主流

馬の「みほーす」
村のキャラクターは

「相馬レースニッセンタ」
があり、毎月200頭以上の馬を販売可能、競馬用アーチンサーの解説によるQ&A、馬の育成と競馬学校がセットになった約2時間の見学コースや、ファンリー向けの各種体験などのイベントが充実。

馬の「みほーす」

車が登場するまで、乗馬は人の移動手段の筆頭。いまは一部の地域を除けば、多くの場面で趣味やスポーツとして行われています。競走馬を引退した馬が乗用馬になることもあります。

古くから日本にいて外国種と交配していない馬を日本在来馬と呼び、現在日本各地に、北海道和種、木曾馬、野間馬、御崎馬、対州馬、トカラ馬、宮古馬、与那国馬の8種があり、主にその土地で、飼育されたり、見守られながら生息したりしています。

Hidaka 北海道 日高町

G-1 勝利馬輩出
日本一の馬産地
182戸 | 頭数: 6,062頭
面積: 992.11㎢ | 人口: 11,964人

Takizawa 岩手県 滝沢市

無形民俗文化財、
華やかなチャグチャグ馬コ
毎年6月に行われるチャグチャグ馬コは、農耕祭に由来する祭りで、角解やかな舞衣を着た馬と馬主が滝沢市から滝岡市にかけて行進する。70頭ほどの馬が力ランコロンと音立てながら約14kmの道のりを歩き、来場者数は8万人近くに及ぶ。
英語訳: チャグチャグ馬コは、農業祭であるチャグチャグ馬コの馬と馬主が滝沢市から滝岡市にかけて、約14kmの道のりを歩く祭りです。馬の角解や華やかな舞衣を着た馬と馬主が、70頭ほどの馬が力ランコロンと音立てながら、約14kmの道のりを歩き、来場者数は8万人近くに及ぶ。

16戸 | 頭数: 116頭
面積: 182.46㎢ | 人口: 55,211人

Tohoku 岩手県 遠野市

28戸 | 頭数: 136頭
面積: 825.97㎢ | 人口: 27,211人

Ritto 滋賀県 栗東市

◆最終土曜日
お繰り出し
宵乗り競馬など
お行列
野馬追式典
甲冑競馬
神旗争奪戦など
◆最終日曜日
◆最終月曜日
野馬懸け
JRAトレセンのひとつ
全国に2つだけの
栗東市

6戸 | 頭数: 約2,000頭
面積: 52.75㎢ | 人口: 69,270人

Minamisoma 福島県 南相馬市

85戸 | 頭数: 216頭
面積: 398.58㎢ | 人口: 54,497人

その他
世界最大級の競走馬生産グループ「社台ファーム」を有する北海道十歳市、馬のマーケート、「ノーザンホースパーク」がある北海道吉小牧市、関東近郊の乗馬スポットとして人気の山梨県北杜市、それぞれ日本在来馬が暮らす長野県木曾町や愛媛県今治市、長崎県対馬市なども、「馬のまち」として知られる。ちなみに、全国の自治体の「馬キャラ」は確認できただけでも20体以上。

Mito 茨城県 美浦村

6戸 | 頭数: 2,129頭
面積: 66.61㎢ | 人口: 15,482人

Uma no Shigoto 5000年来の人間のパートナー 馬の種類や仕事

日本で馬といえば、競走馬で活躍するサラブレッドを思い浮かべる人が多数派かも。400kg～500kgのスマートな体型です。ただし、競馬の引退は、早ければ4歳。寿命が30年もあると考えると、「競走馬」としての一生は短いのです。

5,000年以上も昔から家畜化され、人間とともに生きてきた馬。馬の性質を利用しながら、人の苦みに合わせて品種改良も続けてきました。ここでは、いま私たちが目ににする馬の仕事や種類について紹介します。

競走馬



乗馬



車が登場するまで、乗馬は人の移動手段の筆頭。いまは一部の地域を除けば、多くの場面で趣味やスポーツとして行われています。競走馬を引退した馬が乗用馬になることもあります。

運搬



馬車やそりをひくこと、農業や林業でも活躍してきました。このような場面で用いられる馬は「重種」といわれ体重は800kg～1tを超えるもの。林業における馬籠は、循環型の技術として近年再注目されています。

在来馬



ボニーは、体高が147cm以下の馬の総称で、特定の品種を指すわけではありません。温厚で丈夫な性質の馬が多く、子どもの乗馬用や愛玩動物に近い感覚で飼育されることが多いようです。

ポニー



日本では式典などの活動に限られていますが、騎馬隊が存在しています。現在も欧米などでは実用的な警備手段として騎馬警官が活躍していて、車両がられない場所や群衆に囲まれる場所でのパトロールで力を発揮します。

警察馬



馬のまち



開催日
毎年7月

- ◆最終土曜日
お繰り出し
宵乗り競馬など
お行列
- ◆最終日曜日
野馬追式典
甲冑競馬
神旗争奪戦など
- ◆最終月曜日
野馬懸け

Soma Nomaoi 南相馬の馬の仕事といえば 相馬野馬追

「お繰り出し」や「お行列」では騎馬武者たちを乗せて行列を組み、「宵乗り競馬」や「甲冑競馬」では騎馬武者たちを乗せて疾走。「神旗争奪戦」では、騎乗の細かな指示を受けて立ち回り、「野馬懸け」では神馬として奉納され、と3日間大活躍。国の重要な無形民俗文化財にもなっています。祭礼は、地元の人々にとって大切な節目で、毎年およそ15万人もの観光客が訪れます。



イラスト: super-KIKI

※人口、馬の数などは2018年9月～11月時点のものによる

Uma
to
Kurasu

馬と暮らす

南相馬の日常

Uma
to
Minamisoma
no
Hito hito

家族総出で挑む野馬追当日はもちろん、普段の暮らしまで、馬と人の距離が近いのが南相馬の特徴です。家族の一員として身近で暮らしまで、市内では馬が闊歩する姿も当たり前に眺められる。そんな南相馬での馬の暮らしを見てみましょう。

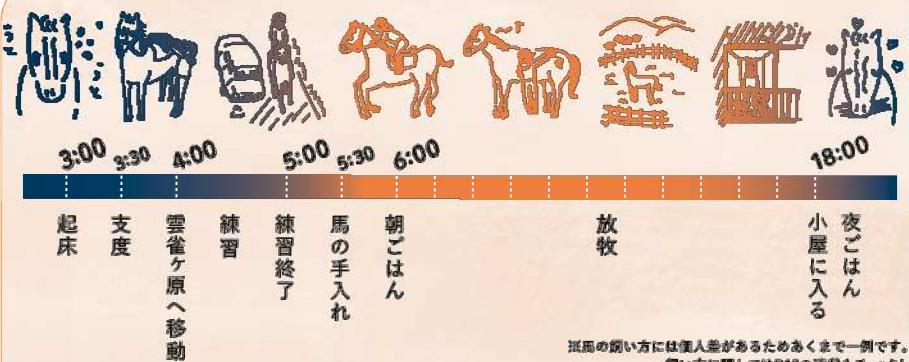
馬の飼育費用いろいろ

- 個人で飼育する場合…月2~5万円／1頭
- 牧場で預託する場合…月10万円程度／1頭

※そのほかの地域では、月15~20万円程度の預託費用が相場。



野馬追が迫ったある馬の1日



浜馬の飼い方には個人差があるためあくまで一例です。
飼い方に関するP16の運動もチェック!

南相馬で暮らす有名馬

馬名	所在地	タイトル	獲得賞金
ワインクリューガー	西町ホースパーク	03 NHKマイル C G I 03 アーリントン C G III	2億524万8000円
シルクメビウス	KOWATA	10 東海 S G II 10 ブリーダーズ G C (中央交流) Jpn II 09 ユニコーン S G III	2億3989万円(中央) 6742万円(地方)
ブレーフテンダー	鹿頭ステーブル	97 アーリントン C G III	3億2472万円
プレミアムボックス	SAKAI	09 CBC 賞 G III 09 京阪杯 G III 08 オーシャン S Jpn III	2億4395万6000円
ユピキタス	南相馬ふれあい牧場	08 ユニコーン S Jpn III	1億1410万円9000円
ロジック	FUKONO ECRIE	06 NHKマイル C G I	1億8594万2000円
マーベラスタイマー	大瀧馬事苑	99 Ar 共和国杯 G II 00 日経新春杯 G II	2億3446万2000円

南相馬では、かつて競馬で活躍した競走馬が風景に溶け込みながら、第二の馬生を送っています。その数なんと200頭以上。本誌の表紙を飾った「ノーリーズン」や、テレビの全国放送でも特集された「ユピキタス」をはじめ、多くの馬が野馬追でも活躍しています。



Uma
to
Minamisoma
no
Hito hito

南相馬市博物館 学芸員・二上さんによく
人々と馬

馬がいる日常

馬は人とともに生きてきた動物の代表格です。古くから軍事・農耕・運搬など、労働力を生み出す動物として世界中で飼育されてきました。

日本でも50~60年ほど前、農業の機械化が進むまでは、作業に従事する馬が家々で飼育されていましたが、その後激減し、馬は日本の風景からほとんど姿を消してしまいました。しかし南相馬では、まるでベットを飼うのと同じ感覚で自宅の庭や厩舎で飼育され、馬がいる日常が今でも残っているのです。

馬は野馬追に欠かせないもの。地元で飼われている馬のほとんどは、経済動物としてはなく、「家族」としてともに野馬追に出馬する、大切なパートナーなのです。



二上文彦

ふたかみ・ふみひこ

南相馬市博物館 学芸員

学芸員として相馬地方の歴史を研究するかたわら、根馬野馬追保存専門委員として、要馬追の保存・伝承の指導にも携わる。



野馬追の季節を告げる、車と馬が通る南相馬の公道

馬のまちで考える

double interview

NPO法人引退馬協会
沼田恭子

渡部南
廐舎みちくさ



馬と人間の関係も、時代を経てどんどん変化していくもの。東日本大震災をきっかけに誕生した『廐舎みちくさ』（以下みちくさ）と関わりのあるNPO法人引退馬協会会長の沼田恭子さんと、廐舎を切り盛りする

渡部南さんは、馬に寄り添いながら人間のパートナーとしての「馬の一生」について、真摯に考えてきました。

被災馬の保護からスタートし、いま競走馬の第二の馬生に向き合いながら活動を行っています。2人から見ても稀有な「馬のまち」南相馬についてうかがいました。

変化する 『みちくさ』の役割

一渡部さんが来てすぐの頃は、具体的には、どのような業務があったのでしょうか。

渡部 日常の世話だけでなく、ボランティアに来ていた獣医さんの協力も得て、被災馬を新しい飼い主とマッチングする企画をしていました。

その頃譲渡した馬たちは、青森県にある『駒っこランド』で引き馬の仕事をしている子、栃木県那須塩原の『南ヶ丘牧場』で馬のいる景観のために暮らしている子、千葉の乗馬学校で学生を乗せる仕事をしている子もいます。

一現在、『みちくさ』ではどんな仕事をされていますか。

渡部 『みちくさ』は、登録上は乗馬クラブですが、インストラクターが私ひとりなので、馬主さんや、会員さんのレッスンに限っていて、広く一般の方の受け入れは準備中です。

今は馬主さんからの預かりがメイン事業ですね。この牧場から毎年野馬追に出ている馬もいるんですよ。乗馬の調教をしているので、野馬追に初めて

ましたが、馬たちを管理する人が必要でした。津波にあったり、しばらく置き去りにされたりして、健康状態がよくない馬ばかり。愛情はもちろん、専門知識もなくてはいけない。それができるのは渡部さんしかいないと思いました。彼女は以前、私の乗馬クラブで働いていたことがあったんです。でも、若い女の子ひとりに行つてもらうには過酷な環境だし、断然でも仕方ないと思いながら彼女に相談したんです。

渡部 私はすぐにぜひやりたいと思いました。ちょうど新しい仕事を探して、きちんと自分の役割がある場所に行けるのは、とても嬉しいことだつたんです。

沼田 とはいっても最初は大変だったわね。拠点にさせていただいたボニー牧場は、すべてがボニーサイズで…。

渡部 馬たちみんなにたんこぶができていましたね。小さな柵だからあちこちぶつけたりして。

沼田 馬事公苑に保護された馬たちもいて、彼女も管理に関わっていたんですね。

はじまりは、
被災馬との出会い

一おふたりが南相馬と関わることなったきっかけは何ですか。

沼田 東日本大震災が契機です。ちょうど引退馬協会が任意団体からNPO団体になり、活動領域を広げていくタイミングでした。すぐに南相馬の馬主さんたちとやりとりが始まって、3月末からは全国から集めた支援物資を南相馬へ届ける活動を始めたんです。私自身がやっと南相馬に来れたのが4月。そこで11頭の被災馬を保護し





出る人、経験が浅い人などが乗馬するときに活躍しています。

また、「みちくさ」の一角には、残念ながら震災の犠牲になってしまった牛の慰靈碑があるし、被災馬も暮らしています。そのため、東日本大震災を学ぶ教材としての役割も担っています。

ながら震災の犠牲になってしまった牛の慰靈碑があるし、被災馬も暮らしています。そのため、東日本大震災を学ぶ教材としての役割も担っています。

馬好きのおふたりから見て、「馬のまち」としての南相馬はどのように映りますか。

世界でここだけの馬と暮らす文化

一馬好きのおふたりから見て、「馬のまち」としての南相馬はどのように映りますか。

沼田

南相馬に通うようになって、こんなにたくさん、しかも身近に馬が住んでいるんだと驚きました。しかも、そのほとんどがサラブレッドです。

渡部 本当に、馬のまちでしたね。馬にとってもいい環境、条件が整っていると感じています。独立して乗馬クラブなどを開業するのはとても難しいことなんですね。でもここでは、最初に馬用の柵を作っているときに近所の人が、「それじゃあすぐ破られちゃうよ」と補強してくれるなど、本当に親切にしてくださいました。

意なこと、苦手なこと、性格が馬にもありますから、いい就職先を見つけることができれば嬉しいですよね。今は『みちくさ』という拠点もできただので、引退馬協会が譲り受けた競走馬をまずはここに預けてトレーニングをしてもらうなど、新たな関係性もできてきました。

競走馬だった馬が、野馬追に出てるのはとてもいい活躍の仕方だと思っています。

南相馬には1000年続いている野馬追があるからこそ、その文化が息づいて、そのなかに馬が生きている。家の車庫のすぐ隣に馬がいたりするのは驚きでした(笑)。世界中見渡しても、唯一無二の場所だと思います。

今後さらに、馬のまちとして魅力を増すとしたら、野馬追を引退した馬たちのその後も考えてはどうでしょうか。余生を送る馬のための牧場があるためG-Iの引退馬が何頭もいることも、意外と知られていないから、もったいない気もしています。

どんなまちよりも馬が身近だし、実際に接している人も多いはずです。だ

地元の牧草も手に入るので、餌代は通常の廄舎より少ないです。品質もすこいいんですよ。

刈り取って、大きなラップのようないで密閉して乳酸発酵させるんです。が、この餌を食べている子たちは腹痛もほとんど起こさず元気ですね。

地元の牧草を食べた「みちくさ」の馬の糞は、酪農家の方が肥料にしてくれて、野菜農家の人たちに使ってもらつて、それを人間が食べている。地元循環の環のなかにいるのが嬉しいです。

馬の糞は、酪農家の方が肥料にしてくれて、野菜農家の人たちに使つてもらつて、それを人間が食べている。地元循環の環のなかにいるのが嬉しいです。

「馬のまち」で動物の福祉を考える

「みちくさ」の原点は、「馬の一生を全うさせたい」という想いだと感じました。馬と人間がともに生きるとは、どういうことだと思いますか。

渡部 獣医さんとともに話すのですが、馬は人間のパートナーとして選ばれた歴史があります。いろんな草食動物がいるけれど、生活をともにしてきたのは理由がある。馬は群れのためにふるまう本能があるので、たとえば人間相手でも子どもを乗せて歩くときは手だけでもそのエネルギーを分けてもらえる気がします。

サラブレッドの場合、競走馬を引退する4、5歳って、人間でいえればまだ中学生くらい。だから引退してからもしばらく他の仕事をして、20歳くらいになつたら余生を送るようになつた、というのが引退馬協会の考え方です。得

じるだけでもそのエネルギーを分けてもらえる気がします。

サラブレッドの場合、競走馬を引退する4、5歳って、人間でいえればまだ中学生くらい。だから引退してからもしばらく他の仕事をして、20歳くらいになつたら余生を送るようになつた、というのが引退馬協会の考え方です。得

て、わざといたすらをして人間の反応を楽しんだりするんですよ。人と話は大変けれど、感動が多い。馬たちは話を聞いているし、コミュニケーションがとれる実感があります。なかなか一言で馬の魅力は伝えられないのですが、意外とひょうきんな面もあります。

先日は年配の方々を乗せて引き馬をする機会があつたんですけど、いつもはいたずらつ子な馬がちゃんと乗りやすいように人間を気遣つている様子に驚きました。

沼田 今、馬のいる景色を見ること自体、一般的には非日常なことです。馬つてすごく穏やかでエネルギーを持つている生きものだと思うので、身近に感じるだけでもそのエネルギーを分けてもらえる気がします。

沼田 今、馬のいる景色を見ること自体、一般的には非日常なことです。馬つてすごく穏やかでエネルギーを持つている生きものだと思うので、身近に感じるだけでもそのエネルギーを分けてもらえる気がします。

渡部 動物が登場する昔ながらのお祭りにも、アニマルウェルフェア(動物福祉)の目線が注がれるようになり、バッティングを受けるケースも見かけます。これからも野馬追が続き、よりよくなつてくためには、動物の福祉の観点も取り入れる必要が出てくるかもしれません。

野馬追は、家族総出で闘わる素晴らしいお祭りだと思うので、馬を使ふ人たちにとっても、お祭りを鑑賞する人にとっても、これから時代にあつたたちを考えていけたらいいなと思います。

写真=鈴木宇宙



沼田 恭子
ぬまた・きょうこ

広島県出身。乗馬クラブ運営の傍ら、1997年にイグレット・軽種馬フォスター・アレントの会を設立し、引退馬の余生を支える里親制度を始めた。のちに現在の認定NPO法人引退馬協会。引退馬の里親制度や、リトレーニングによる再就職支援制度、馬とのふれあいなどの活動を主に行う。



渡部 南
わたなべ・みなみ

広島県出身。県外でインストラクターの仕事をしていたが、震災後、NPO法人引退馬協会からの派遣で、南相馬にて被災馬の世話をを行うよう。その後、2016年に『厩舎みちくさ』を開業し、現在に至る。



厩舎みちくさ
〒979-2174
福島県南相馬市小高区
大富北谷地314



◀みちくさの活動やイベントのお知らせなどはFBページをチェック。

有名馬ディープインパクトの子
どももここで飼われ、野馬追に
出陣している。



人が住む母屋と倉庫を挟んで馬
の生活スペース。畑と手作りの
柵は南相馬でよく見る風景。



子どもも臆せず柵の中へ入る。
もちろん、馬の「後ろに立って
はいけない」というマナーはき
ちんと守り、馬に敬意と愛情を
持って遊ぶ。



倒れた耳は信頼とリラックスの証。一通りの撮影を終え、子ども達も達もいなくなつた時の一コマ。ご主人に甘えている様子は家族の時間そのもの。

第一回：飼葉

馬先生直伝!! 正しい馬の食育方

by Dr.KAMIDE

南相馬市在住の馬専門の獣医師、上手健太郎さんが、馬を健康に保つための栄養学や健康法を、最新の研究も参考にしながら、分かりやすく伝えていきます。

馬はヒトと違い草食動物です。大きな発酵タンクである盲腸でヒトが消化することができない纖維を、そこに共生している微生物の力を借りてエネルギーに変えることができる動物です。つまり、良質な栄養価を持つ草を1日中食べる事ができれば、命に関わるような疝痛症(腹痛)を予防し、健全に飼育できる足掛けかりになります。

そこで今回は、第一弾として、馬の栄養学で最も大切といって過言ではない、粗料牧草についてご紹介します。

いわゆる牧草と呼ばれるものは、イネ科牧草であるチモシー・マメ科牧草であるアルファルファの2種類に分かれることができます。

このうち馬の主食となるのはイネ科牧草で、サラブレッドだと1日当たり体重の2%、つまり乾燥重量として10kgが1日に必要な給餌量となります。給餌のポイントは、放牧地に放たれている馬のように1日中食べること。お腹が動き、便秘や食糞などの「病気」や「悪癖」を予防することが可能になります。「一気に食べ過ぎてしまう馬にはヘインネットと呼ばれるネットに乾草を入れ、少しづつ時間をかけて食べてもらうことをおすすめします。

「青草」と呼ばれる刈ったばかりの草は水分が90%もあるので、夏場の水分

補給に効果です。ただし、纖維質は10%しかないため、見た目以上に栄養価が低いことは意識しなければなりません。

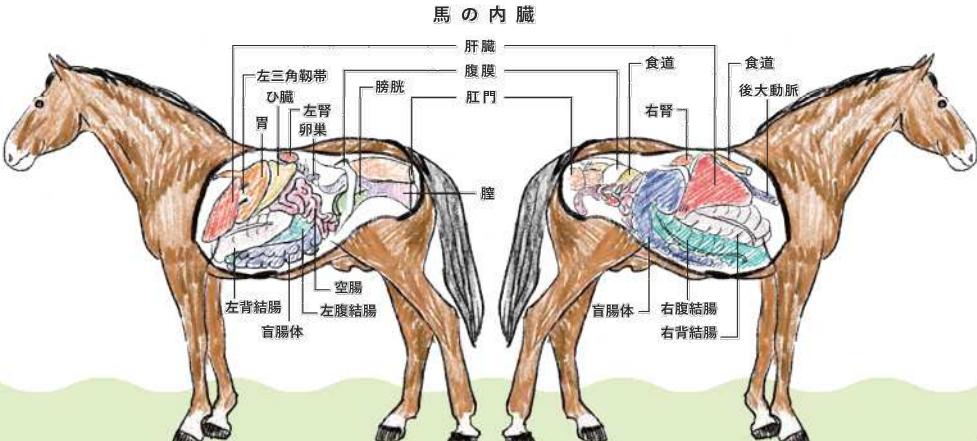
次にマメ科牧草です。アルファルファやルーサンと呼ばれ、成型されたものではハイキューブがあります。これらの飼料は栄養価が高い反面、前述した発酵タンクである盲腸や大腸でたくさんのがスを作ります。そのため、たくさんの給餌はカロリーを摂るにはいいのですが、お腹が膨れ、腹痛の原因となることがあります。1日の給餌量の目安は乾燥重量で2kg前後としましょう。

最近の研究では蹄の悪い馬には、このマメ科牧草やフスマなどが良くないと報告されています。そんな馬たちには、1日のマメ科牧草給餌量を乾燥重量で500g程度とし、イネ科牧草やその他でエネルギーを補給します。



上手健太郎 かみで・けんたろう

兵庫県明石市出身。高校進学から県外へ出て、高知県、ニュージーランド、大分、北海道と住まいを移す。仕事の転勤で宮城県山元町へ来てから、古くから馬文化が残る南相馬に興味を持ち、移住。馬はもちろん、小さな動物も好きで診ている。



今宵の一杯

Bar Wizard
マスターの

金柑のカクテル



- ポイント
 - 作り方
 - 用意するもの
- 1 グラスにお湯と金柑を入れ、
 - 2 ストーン等で金柑を温めます。
 - 3 蜂蜜を加え、金柑をしつかりと温めます。
 - 4 最後に温めた白ワインをグラスに入れる。
- 材料はすべて温かいものが理想です。

今回は、冬らしく温かいカクテルをご紹介します。バーで季節感を出すときには、色合いで工夫するか、旬のフルーツを使うかします。冬場は使えるものがどうしても少なくなりますが、そのなかでいちごと金柑は定番ですね。

金柑は、カクテルにすることができるとわりと万能なんですね。果汁が取れない分、ぶせばショートカクテルにもできますし、僕としては使いやすい素材です。

種を取り除くのは大変なんですが、それさえきちんとやれば、難しいポイントもないのです。当店では2月くらいまでお出ししています。



草野聰

くさの・さとし



Bar Wizard

〒975-0004
福島県南相馬市原町区池町1-18
TEL: 0244-26-3980
LUNCH 11:30~14:00/
BAR 18:00~24:00

南相馬市出身。茨城県土浦市にあった「Bar Wizard」にて修行後、原町屋台村広場で「カクテル屋チョイス」を開店。2010年12月に「Bar Wizard」をオープン。2018年、「第45回全国バーテンダー技能競技大会」創作部門で1位。

予測不能な未来を楽しむ! イノベーション研究室

by Next Commons Lab 南相馬

Report. 1 小高バイオニアヴィレッジ

南相馬市は東日本大震災及び原発事故後、従来存在した地域課題が更に深刻化し、新たな課題も生まれるなど、「課題先進地域」となりました。

しかし、その状況を前向きに捉え、ハンドのある地域だからこそ、日本がこれから直面する様々な課題を突破していくモデルを作れるのではないかという信念のもと、革新（＝イノベーション）起こすべく挑戦している方々がいます。このコラムでは、南相馬で芽生えたさまざまなチャレンジを紹介していきます。

今回は小高区で2018年12月に開所した「小高バイオニアヴィレッジ」を研究します。この施設は、震災と原発事故により人口が激減しコミュニティが喪失した街で、再び人の宮みを取り戻すため、あえて機能を限られた建物として建てられ定せず、いまいさを持った建築として建つものでした。建築費にあたるべく今年の夏にクラウドファンディングが行われ、目標金額



小高バイオニアヴィレッジ
〒979-2124 福島県南相馬市小高区本町一丁目87
【お問い合わせ】小高ワーカーズベース TEL:0244-26-4665



500万円の支援を集めました。設計者は、公共施設の老朽化と財政問題を背景とした住民参加型のシティプロジェクトにも数多く携わる藤村龍至さん。著書『ちのかたちー建築的思考』では、「オフィスには大きな階段状のスペースをつくり、そこでレクチャーを受けた人びとアトリエを見学し、その後ゲストハウスをめぐり、最後にシェアオフィスにたどり着く」ひつながらの動線をつくり、小さな時間の流れ”を設計することが大事だと考えた”と小高バイオニアヴィレッジについて述べられています。「新しい復興」の拠点として、被災地の新しい日常を発信するため、大きな階段状のスペースが起点となる観察や見学の動線を考案されたのです。

起業家が作つた商品の販売や地域内外に向けたイベント開催など、多様な闘い方が想像され、まさに「イノベーション」のプラットフォーム”とも呼ぶべき施設です。ゲストハウスとしての宿泊機能も備えているのトハウスとしての宿泊機能も備えているので、南相馬にお越しの際は、ご利用してみてはいかがでしょうか。

ノーリーズン



野馬追出陣時 現役時代 (2002年皐月賞)

2002年皐月賞(G1)を当時のレコードタイムで優勝。2005年から種牡馬入りし、2008年から産駒がデビューした。その後、南相馬市に移動し、功労馬として余生を送っていたが、東日本大震災発生後は、一時宇都宮大学に避難。その後南相馬市に戻り、2014年11月より鹿頭ステーブルで暮らしつづけている。

2002年6月4日生まれ(20歳)・元G1馬・成績:12戦3勝・獲得賞金:1億8601万7000円・獲得タイトル:皐月賞G1(2002)

発行元:南相馬市役所
統括編集長:鎌田由光(南相馬市役所)
編集:小野民
アートディレクション・デザイン:ウサワリカ
写真:鈴木宇宙、齋藤太郎(南相馬市役所)
制作(南相馬市役所):馬場仁、青山雄磨、吉田亜衣、比留間勇人、杉本佳央、高野敦雄、三春咲絵
撮影協力:鹿頭芳光、吉田結奈、吉田里緑奈、田中幸、田仲伸唯、北元秀明、北元咲絵、北元恒志、北元悠成、ノーリーズン、マイネルメテオール、ツクバインドラ
発行日:2019年1月18日
問い合わせ:南相馬市サポート事務局(南相馬市役所内)〒975-8686福島県南相馬市原町区本町二丁目27番地/TEL:0244-22-2111

『ミナミソウマガジン』創刊号はいかがでしたか?
南相馬市内を車で走ると、民家の庭先で馬が(まるで外で犬を飼うかのように)飼育されている光景を目します。日本全国に”馬のまち”はたくさんあります、これほど馬が身近なまちは南相馬だけかもしれません。馬はもちろん、南相馬にしかない様々な面白さを、少しでも届けることができばとの想いで会報誌を企画しました。無事に創刊を迎えることができ、本当に嬉しく思います。今回の制作に関わっていただいた方々(と馬たち)に心から感謝しています。(制作一同)

編集後記

Next Commons Lab
南相馬

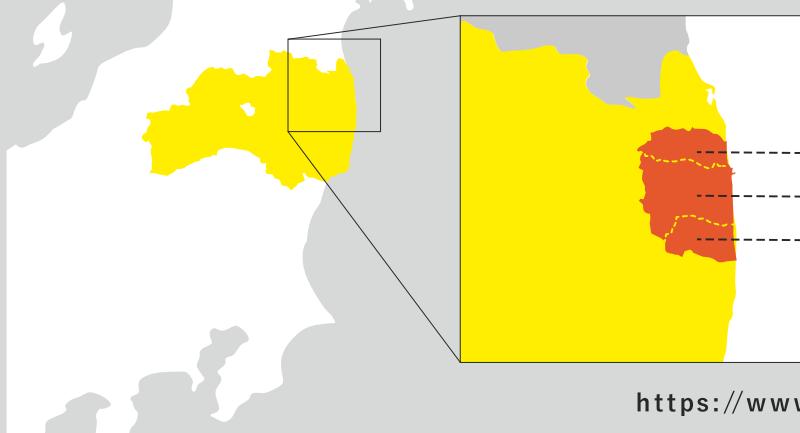
<http://nextcommonslab.jp/minamisouma/>
<http://www.facebook.com/171167223543684>

Next Commons Lab南相馬は、地域資源の有効活用や課題の解決を目指すプロジェクトを立ち上げ、地域に魅力ある仕事を生み出していくチームです。プロジェクトを推進する起業家や、行政、事務局を運営するコーディネーターなど、多様な立場の人々が協働しています。

南相馬とは？

現在の南相馬市は、平成18年1月1日、旧小高町、旧鹿島町、旧原町市の1市2町が合併して誕生。福島県の浜通りと呼ばれる、太平洋に面した地域の北部に位置し、東京から距離は292km。いわき市と宮城県仙台市のほぼ中間にあたる。夏は冷涼・冬は温暖な気候で降雪量も比較的少ない。

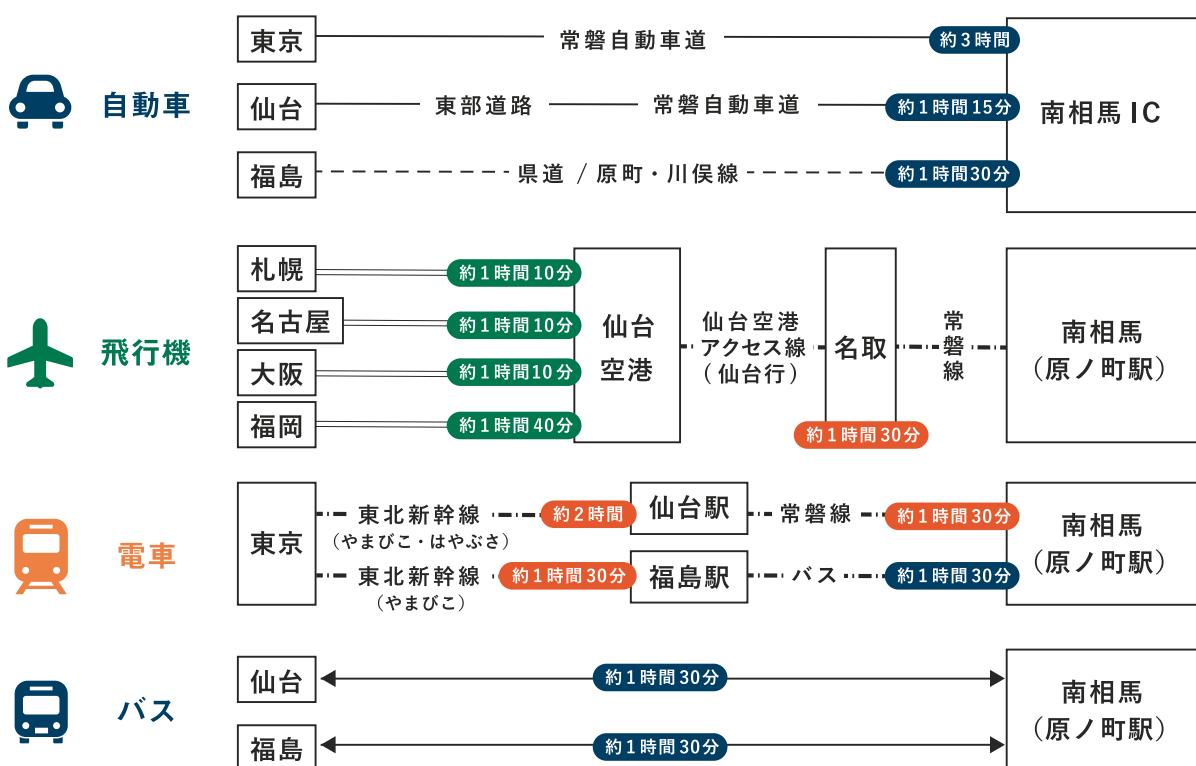
2011年3月11日の東日本大震災では、沿岸部での津波の被害に加え、小高区全域が避難指示区域に指定された。（2016年7月に解除）



<https://www.city.minamisoma.lg.jp/>

人口：54,497人
広さ：398.58km²
市の木：けやき
市の花：さくら
市の鳥：ひばり
市の魚：さけ
市の昆虫：ほたる

ACCESS 交通アクセス



「ミナミソウマガジン」が不定期で届く！

『南相馬市サポーター』登録はこちらから >>>

